

ピーナツカップ参加選手への注意事項

【出席について】

- * ドローを見たら、試合日・試合会場・試合時間を必ず確認し、間違いのないようにし、会場までの交通機関・所要時間も確認しておくこと。（特に会場を間違えないよう注意して下さい。）
- * トーナメントの当日には、試合指定時刻に十分余裕のあるように会場に到着し、本部に出席を報告して、試合がいつでも行えるよう準備待機すること。
（天候が不順でも、会場に定刻までに集合して指示を受けること。）
- 出席は必ず本人が定刻までに、プレーのできる服装で届けること。〔ダブルスの場合は、2人揃って届けること。〕
- その場合、「種目、ブロック・ドロ番号、氏名、所属」の順にはっきりと届けること。
（例）「18才以下男子シングルス、Aブロック4番、大山輝彰、柏台テニスクラブです」
- 挨拶をきちんとし、明るい気持ちの良いムードづくりに協力しましょう。「おはようございます」、「こんにちは」、そして帰るときには「ありがとうございました、さようなら」を忘れずに。
- * 遅刻は原則として認めませんが、電車の事故による遅延のために定刻に間に合わない場合のみ、定刻までに連絡をしたうえで定刻より30分以内に会場に出席を届けることが出来る場合に、遅刻が認められる場合があります。

【服装に関して】

- * ウェアは、テニスウェアとし、文字・ロゴは13平方センチ以内の大きさであること。
- * ユニホームであっても、色・柄・文字等が不適当なものは着用を認めません。
- * 本部から特別の指示の無い場合は、試合は半袖シャツ、ショートパンツ、スコートで行うこと。（その会場の一番寒いコートネットポストの日影部分での気温が13℃以下の場合は、ウォームアップ・ウェアの着用を認めます。）

【試合方法等について】

〔予選〕全種目1セットマッチ（6ゲームオール・12ポイントタイブレーク）

〔本戦〕以下のラウンド以降は、3セットマッチ（6ゲームオール・12ポイントタイブレーク）で行います。

| | |
|-----------------------|----------------------|
| 18才以下男子シングルス……1 R | 18才以下男子ダブルス……1 R |
| 18才以下女子シングルス……1 R | 18才以下女子ダブルス……1 R |
| 16才以下男子シングルス……1 R | 16才以下男子ダブルス……ベスト16より |
| 16才以下女子シングルス……1 R | 16才以下女子ダブルス……ベスト16より |
| 14才以下男子シングルス……1 R | 14才以下男子ダブルス……ベスト16より |
| 14才以下女子シングルス……1 R | 14才以下女子ダブルス……ベスト16より |
| 12才以下男子シングルス……ベスト32より | 12才以下男子ダブルス……全試合 |
| 12才以下女子シングルス……ベスト32より | 12才以下女子ダブルス……全試合 |

- * セットブレイクルールを採用します。
- * 1セット毎にニューボールを使用します。
- * 3セットマッチの試合は全てノーアドバンテージ方式で行います。

- * 試合の進行は、「オーダー・オブ・プレー」によって行われますので、掲示に注意して待機するようにすること。（放送による案内は原則として行いませんので注意してください）
- * 掲示板に前の試合の結果が記入されてから10分以内にコートに入らない場合は「失格」となるので注意すること。
- * 試合球は、ヨネックス TMP-80

【セルフジャッジとロービングアンパイアについて】

- * 決勝戦以外は、すべてセルフジャッジで行います。サーバーは、各ポイント、ゲームカウントを相手にはっきりと聞こえるように大きな声でコールすること。
- * レシーバーは、サーバーのカウントコールに対して、同意を示すために、声またはジェスチャーで、合図をサーバーに送らなければならない。
コールに対する合図をしなくて、返球の構えに入った場合は、レシーバーはサーバーのカウントコールを認めたものとみなされる。
- * 「アウト」、「フォールト」、「レット」は、即座にはっきりと大きな声でコールすること。
- * 「イン」か「アウト」かがはっきりしない場合や、ダブルスでパートナーとの判断が食い違った場合は、相手に有利になる判断をすること。
- * ネットの自分のサイドの判定には自分が責任を持つことになり、相手のサイドは相手に任せることになります。相手の判定に疑問を持った場合は確認をすることができますが、必要以上の行動は慎みましょう。
- * 他のコートからのボールが自分たちのコートに転がってきたら「レット」としてそのポイントをやり直すこと。（第2サーブから始まったポイントでも、第1サーブからやり直す。）
- * フットフォールト： レシーバーから見て、どう見てもサーバーがフットフォールトしていると判断した場合は、すみやかにレフェリーを呼んで事情を説明し善処してもらうことができる。
- * トイレとか、飲み物等の補給、着衣の突然の不良化等、選手の不可抗力の事態の場合は、まず、相手にその理由をはっきりと説明して同意を得ればコートを一時的に離れることができる。（相手が同意しない場合はレフェリーを呼ぶことができる。）
- * 本人同志で解決のつかない問題が起きた場合は、ロービングアンパイアにアピールすることができます。
……その場合、① 相手にレフェリーを呼ぶことを知らせる。
② その後、コートの外の第三者に、レフェリーを呼んできてもらうように頼んで、自分はコートで待つ。
③ 頼める人が誰もいない場合は、相手にレフェリーを呼びに行くことを伝えて、コートを離れてもよい。

<ロービングアンパイアに関して>

この大会では、ロービングアンパイアが以下のことがらを行います。

- ① 不正確な判定をオーバールールする。
（注）「グット」のボールを「アウト（フォールト）」とコールして、オーバールールされた選手は失点します。
- ② コールが正しく、大きな声で、また明確なジェスチャーでなされているかを監視する。
- ③ フットフォールトをコールする。
- ④ 時間の管理をする。（ウォームアップ／チェンジオーバー／ポイント間、等）
- ⑤ 服装をチェックする。

⑥ スポーツマンシップに反する行為を監視する。

⑦ 「コーチング」の監視。

(注) 言葉はもちろん、合図・目配せを含むので、選手は試合中は観客と目を合わせないようにして誤解の無いようにすべきです。

● スポーツマンシップに反した行為とは：

1. かんしゃくを起こすこと。
2. どなったり、みだらな言葉を口にする事。
3. ひどい悪口を言うこと。
4. いやらしい態度をとること。
5. 怒ってラケットを投げたり、何かにラケットをぶつけたりすること。
6. 怒ってボールを投げつけること。
7. 相手をだますこと。
8. わざとぐずつくこと。
9. 大きな声を出したり、ラケットを腕や必要以上に振り回したり、音を立てたりして、わざと相手の気を乱すこと。

<選手の義務>

* 試合の前に：

- 控えに入ったら、本部でボールと戦績記録用紙を受け取り、自分達の入るコートの近くで待機する。
- コートに入ったら、まずトスをしてからウォームアップを始める。
- ネットの高さ、シングルス・スティックの有無等を確認する。

* 試合中は：

- 上記のセルフジャッジの注意を守ること。
- スコアボードは、1ゲーム終了ごとにスコアを表示すること。
- ボードの上の段は、ドロー番号の早い選手のスコアを入れること。

* 試合が終わったら：

- スコアボードを、「0-0」に戻すこと。
- 勝者は、試合終了後すぐに戦績記録用紙にスコアを記入し、ボールと一緒に本部に届けること。(親やコーチとの話はその後にする事)
- 次の試合の予定を確認して待機すること。

【その他】

- * 各自の荷物(特に貴重品)は、各自が責任をもって管理すること。
 - * 荷物は、他人の邪魔にならないように整理しておくこと。
 - * 盗難等の事故に関しては大会本部は責任を負いません。
 - * 会場で気がついたゴミは、所定の場所に捨てるように協力しましょう。
 - * ハードコートの場合、シューズ裏の小石は必ず取る事。
 - * この大会については、各クラブの皆さんの協力によって試合ができることを忘れずに、各クラブの人たちには感謝の気持ちを持って接し、施設は大切に使いましょう。
- ※ドローに載っている登録番号が間違っていないかどうか、確認してください。
- ※ダブルエントリーをしないように注意しましょう。
- ※この大会は「関東テニス協会ジュニアテニストーナメントペナルティ(罰則)規定」を採用します。
- * 関東ジュニアランキング…2007.11.7発行分使用。
 - * 12才以下のファイナルセットの前の10分間の休憩はありません。